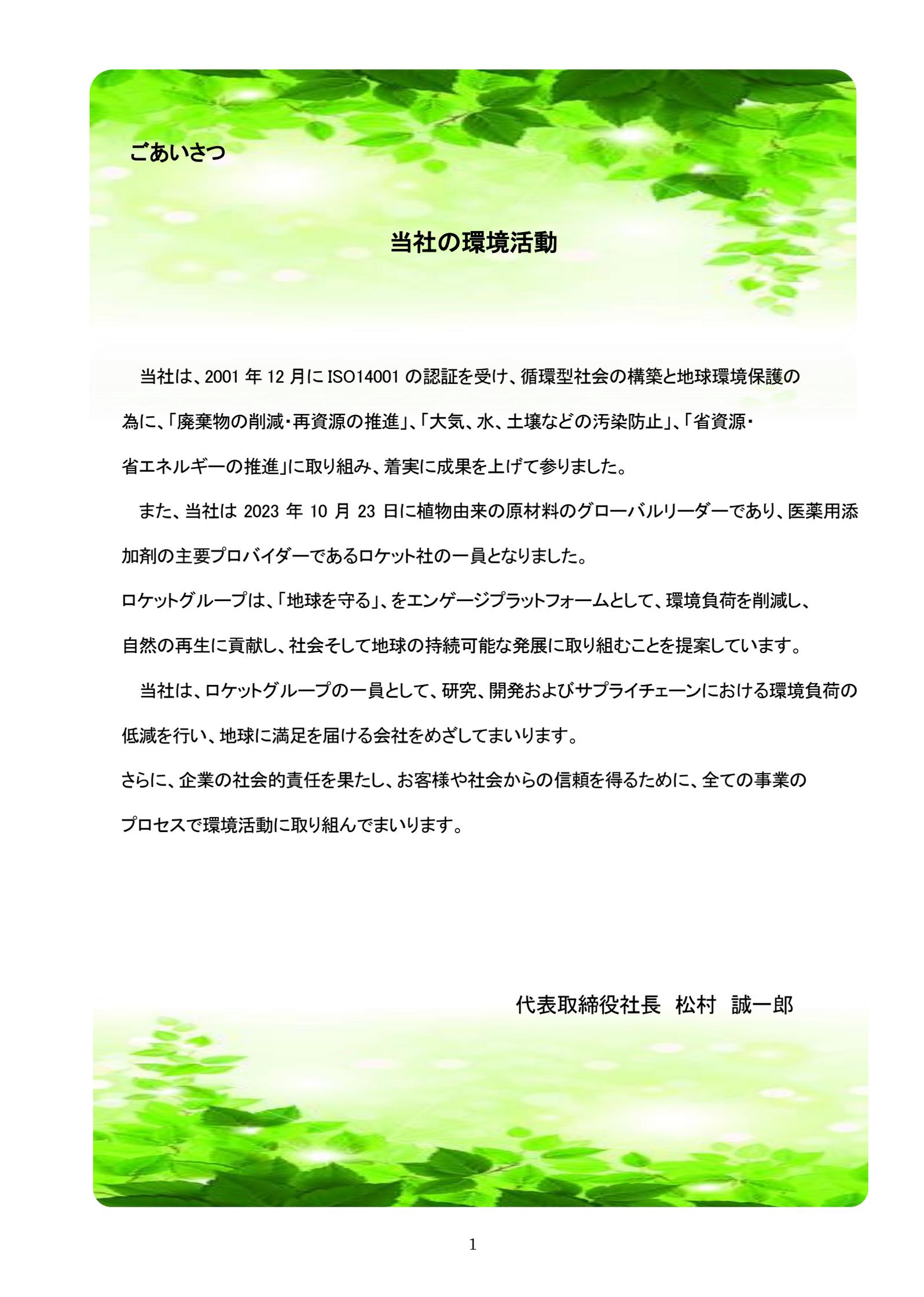




環境レポート2023

クオリカプス株式会社





ごあいさつ

当社の環境活動

当社は、2001年12月にISO14001の認証を受け、循環型社会の構築と地球環境保護の為に、「廃棄物の削減・再資源の推進」、「大気、水、土壌などの汚染防止」、「省資源・省エネルギーの推進」に取り組み、着実に成果を上げて参りました。

また、当社は2023年10月23日に植物由来の原材料のグローバルリーダーであり、医薬用添加剤の主要プロバイダーであるロケット社の一員となりました。

ロケットグループは、「地球を守る」、をエンゲージプラットフォームとして、環境負荷を削減し、自然の再生に貢献し、社会そして地球の持続可能な発展に取り組むことを提案しています。

当社は、ロケットグループの一員として、研究、開発およびサプライチェーンにおける環境負荷の低減を行い、地球に満足をお届ける会社をめざしてまいります。

さらに、企業の社会的責任を果たし、お客様や社会からの信頼を得るために、全ての事業のプロセスで環境活動に取り組んでまいります。

代表取締役社長 松村 誠一郎

目次

第1章 概要

1. 環境方針
2. 環境との関わり

第2章 環境マネジメント

1. 環境会計
2. 環境管理体制
3. 環境監査
4. 環境に関する法規制順守・苦情
5. 緊急事態への対応

第3章 活動実績

1. 資源および廃棄物対策
2. 地球温暖化防止と省エネルギー
3. グリーン購入
4. 製品ライフサイクルアセスメント
5. 地域とのコミュニケーション
6. 社会貢献
7. 環境情報開示

編集情報

- ・対象範囲：この環境レポートは、クオリカプス株式会社のデータのみであり、海外関係会社は含んでおりません。

第1章 概要

1. 環境方針



クオリカプス環境方針

クオリカプスは国内で初めて世界文化遺産に登録された法隆寺をはじめ7～9世紀の数多くの文化遺産・史跡が残る奈良盆地のほぼ中央に位置する緑豊かな自然環境の中で1965年4月から医薬品・健康食品用ハードカプセルの製造販売及び製剤関連機械の開発・製造・販売の事業活動を行ってきた。

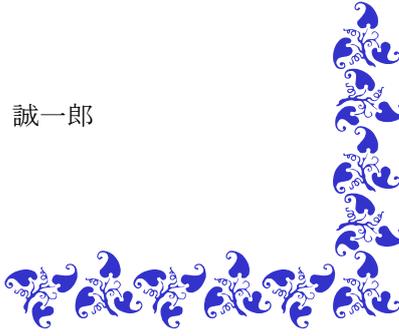
クオリカプスは「創造力で、仲間・人々・地球に満足を届けるクオリカプス ～命・健康のために～」をミッションとして、地球温暖化への対応及び環境の汚染の予防に努め、後世にきれいな環境を引継ぐために全事業活動を通じて以下の事項を推進する。

- 1.環境活動を推進するため、環境マネジメントシステムを構築し、責任と権限を明確にする。
- 2.全ての部門の事業活動はライフサイクルの視点に従って、省資源・省エネルギー・自然界への有害物質放出の削減及び産業廃棄物の低減を念頭に置いて環境目標・プログラムを設定し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努める。
- 3.環境関連の法規制、条例、協定を順守することに加えて、社会、業界、及び顧客要求への同意事項、更に技術的、経済的に可能な範囲で自主基準を制定し、これらを順守する。
- 4.定期的に環境マネジメントシステムの内部監査を実施、設定した環境目標・プログラムの進捗度を管理すると共に、これらを定期的に見直し、環境管理システムの向上に努める。
- 5.この方針は組織の管理下で働く人々に周知し環境問題の教育、必要な訓練を通じて環境保全への意識の向上と事故の防止及び迅速な対応を図る。
- 6.この環境方針は利害関係者からの要求に応じて開示・提供する。

制定 2000年 12月 1日

改訂 2021年 7月 1日

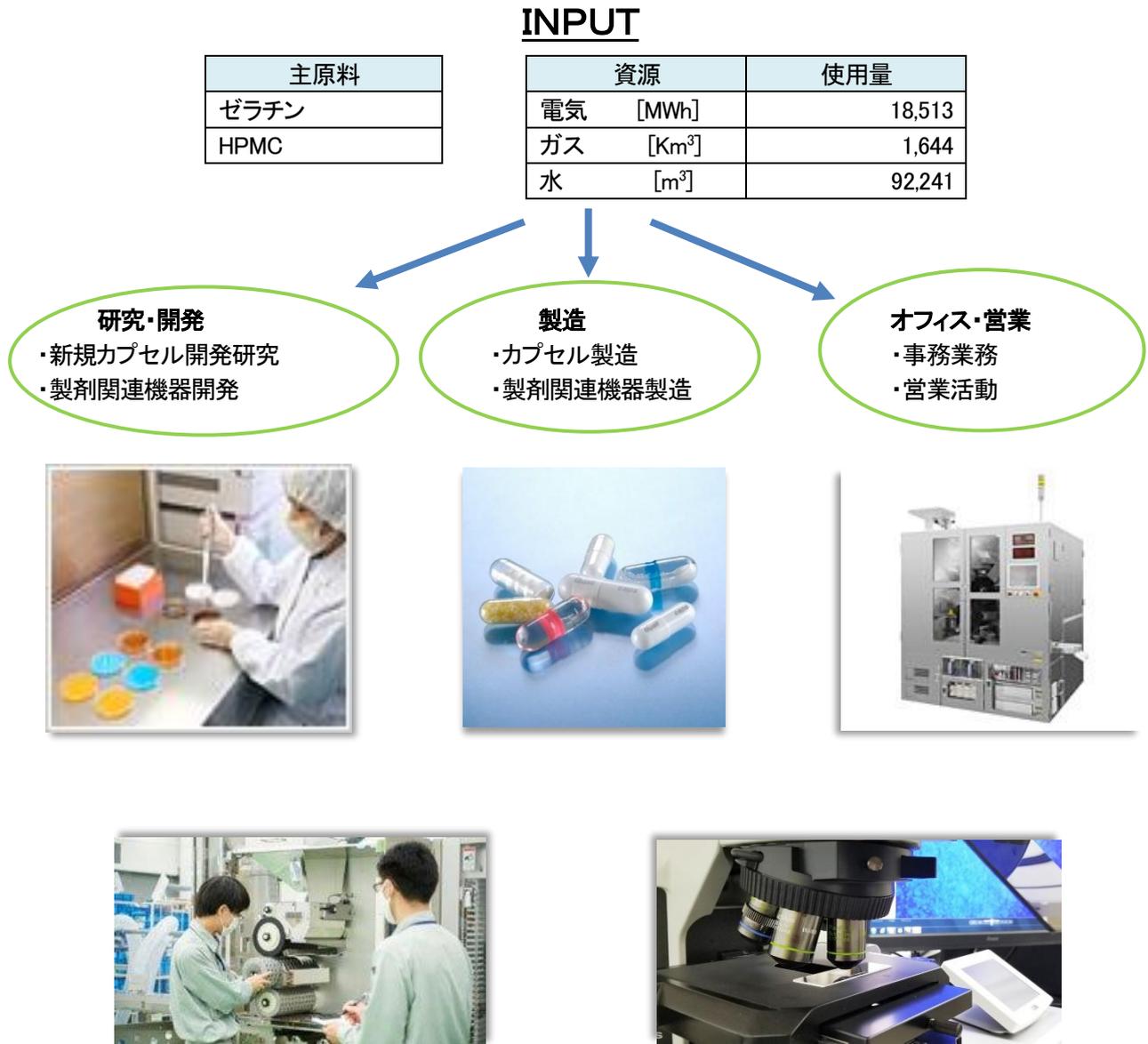
クオリカプス株式会社 代表取締役社長 松村 誠一郎



2. 環境との関わり

ゼラチン及び HPMC(ヒプロメロース)を原料としたハードカプセルと製剤関連機器の製造販売活動を行っております。

事業活動に由来する環境負荷は、廃棄物の発生、エネルギーの使用による二酸化炭素の排出及び工程から発生する排水が主なものです。



OUTPUT



項目		排出量
二酸化炭素排出量	[t-CO ₂]	11,729
廃棄物発生量	[t]	274
排水量	[m ³]	90,184
BOD 排出量	[t]	7.5
窒素酸化物(NO _x)	[t]	0.77

第2章 環境マネジメント

1. 環境会計

環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、その取組を定量的に管理しています。

分類	主な取り組みの内容	費用額(千円)
公害防止コスト	・排ガスの維持管理	290
	・排水設備の維持管理	210
地球環境保全コスト	・エネルギー対策	4,922
	・フロン対策	0
資源循環コスト	・廃棄物処理	13,805
管理活動コスト	・EMS 維持管理	721
	・緑化の維持管理	1,236
社会活動コスト	・地域社会活動	300
環境損傷対応コスト	・汚染負荷量賦課金	223

2. 環境管理体制

2001年12月に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001:1996を認証取得し、2017年にISO14001:2015に移行を完了しており、日本総括執行役員の指示のもと環境管理責任者が環境管理組織を統括して運営し、継続的改善を行っております。

3. 環境監査

・外部審査(第三者審査):第7回更新後 第1回維持拡大審査(複合)を受け、「適合」評価を受けました。

4. 環境に関する法規制順守・苦情

- ・2023年度は環境に関する苦情はありませんでした。
- ・排ガス・排水規制値については、法規制値より厳しい自主管理値をクリアできています。
- ・順守評価リストを作成し、法規制が順守できていることを確認しています。

5. 緊急事態への対応

・年1回の全従業員参加での防火・防災を含めた総合防災訓練の実施はもとより、新規採用者への安全教育、消火器の操作訓練を行っております。

消火器の操作訓練



避難訓練



消火訓練



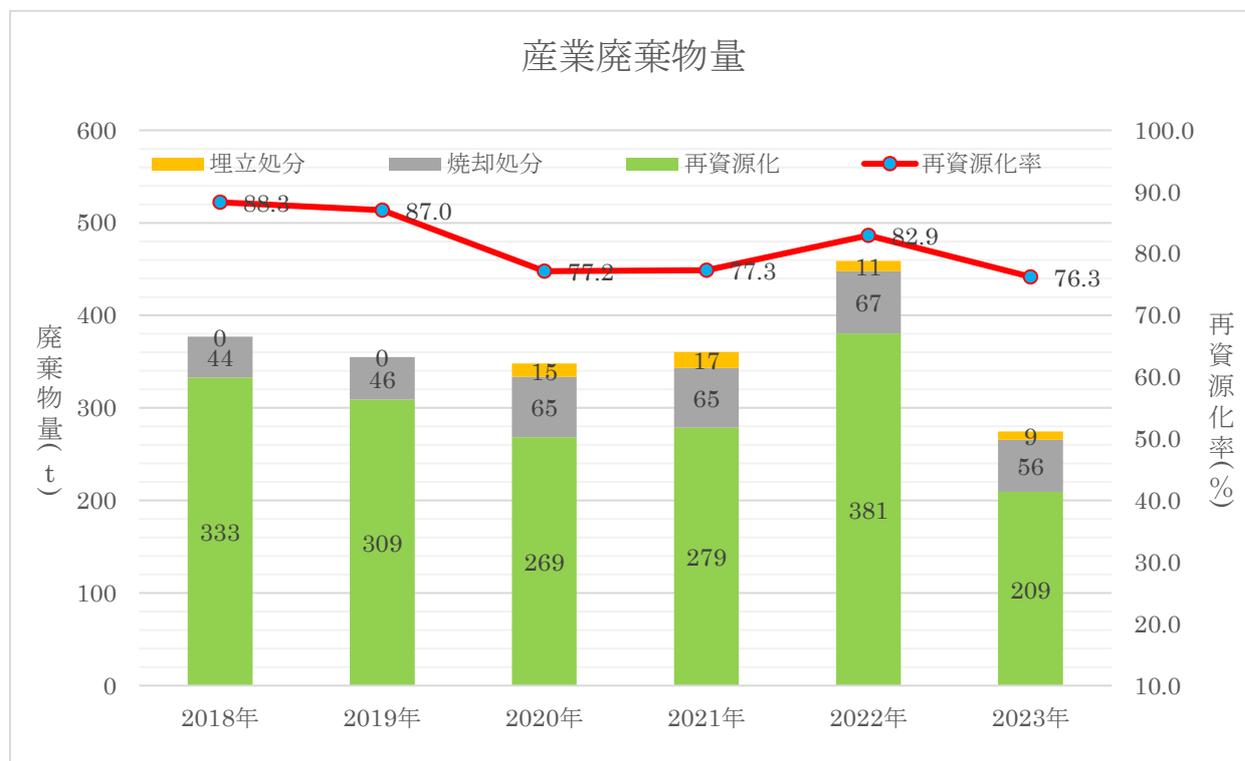
第3章 活動実績

1. 資源及び廃棄物対策

(1)再資源化

発生する廃棄物は、できるだけ再資源化できる産業廃棄物業者を選定し、再資源化に取り組んでおり、今後も再資源化に向け取り組んでまいります。

- ・再資源化可能な廃棄物: 廃カプセル・切片、廃ゼリー、金属くず、古紙・ダンボール、廃プラスチック類
- ・再資源化不可能な廃棄物: 残飯、紙屑類



(2)埋立処分量

埋立処分量については、2023年度は、9トン kg であり、削減に向けて取り組んでおります。

(3)あかり安心サービスの導入

パナソニック(株)が考案した「あかり安心サービス」を導入し、ランプに対するゼロエミッションを継続しています。

(4)LED 照明への切り替え

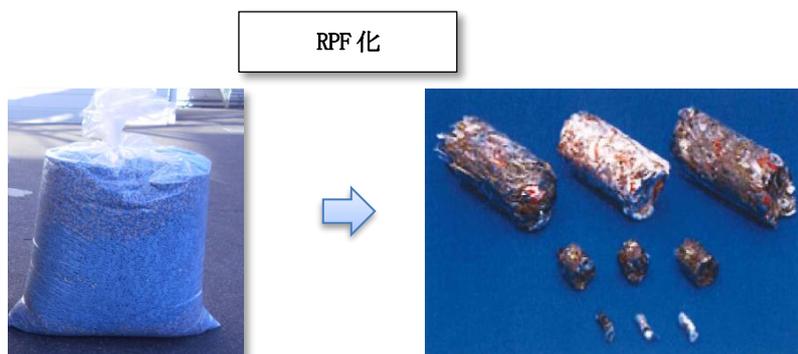
LED 照明へ計画的に切り替えを行っており、省エネ化を進めております。

(5)機密書類をトイレトペーパーにリサイクル

機密書類は、トイレトペーパーへのリサイクル化を継続しています。

(6)廃棄カプセル・切片の RPF(廃棄物固形燃料)化

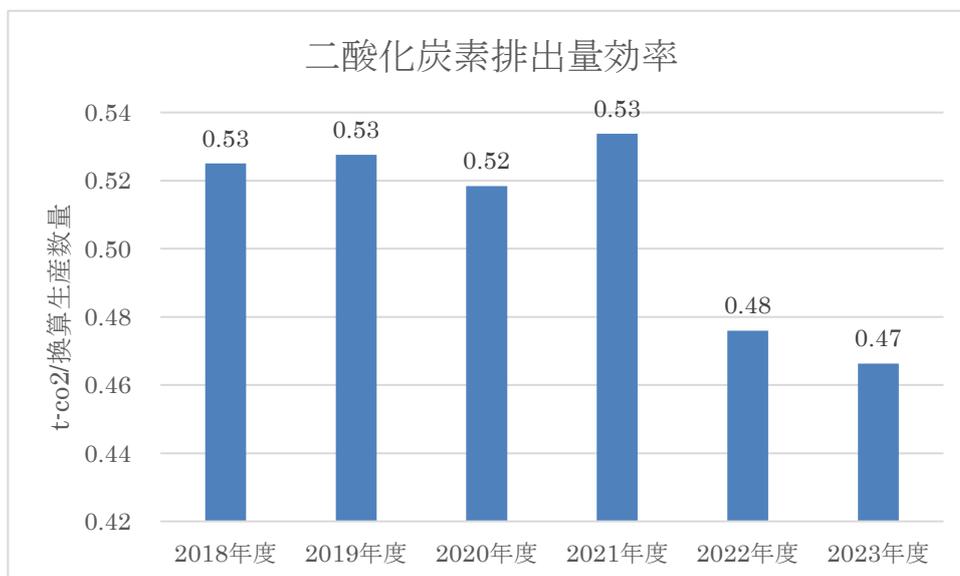
生産工程で発生した廃棄カプセル等は、RPF 化し、再資源化を継続しています。



2. 地球温暖化防止と省エネルギー

(1)生産量に対する二酸化炭素排出量効率

製造プロセスや設備の改善をすることで、生産量を向上させ、二酸化炭素排出量効率の低減を推進しています。



(2)指定フロン(R-22)の代替フロン(R-134a、R-407C 他)への切り替え

指定フロンから代替フロンへの切り替えを計画的に実施しています。

3. グリーン購入

事務用品は、エコマーク及びグリーン購入を全社で推進しています。

4. 製品ライフサイクルアセスメント

環境開発設計管理規定(ガイドライン)を設定し、カプセル製品、機械製品の開発・設計段階において、ライフサイクルアセスメントを実施し、地域・地球環境の考慮すべき環境影響因子を明確化し、省資源、省エネルギー化を継続しております。

5. 地域とのコミュニケーション

近隣清掃、地域催事への寄付、工業団地協議会加入など、地域交流を行っています。

大和郡山市クリーンキャンペーン参加



6. 社会貢献

- ・社会貢献活動を行う諸団体、日本ユニセフ協会、日本盲導犬協会、奈良県緑化推進協会、奈良県共同募金への寄付
- ・地区 PTA バザー、市主催まつり等に協賛
- ・年 2 回の献血
- ・こども食堂応援自動販売機の設置



2022年1月に大和郡山市がダイドードリンコ(株)と連携し展開している「子ども食堂応援自動販売機」の第1号を本社食堂に設置しました。自動販売機の売上の一部は大和郡山市内の子ども食堂の運営支援に回されます。当社はSDGsに賛同し、地域社会への貢献に取り組んでいます。

7. 環境情報開示

- ・環境情報対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日



Qualicaps Co.,Ltd.

環境安全部 ISO 事務局

2024 年 12 月発行

〒639-1032 奈良県大和郡山市池沢町 321 番地の 5

TEL 0743-57-8597 FAX 0743-56-6666

(環境管理担当直通)

URL:<http://www.qualicaps.co.jp>

